

2022年度第1回(2022年4月27日)  
IIPPF 企画委員会 情報共有セミナー開催報告

IIPPF 事務局

IIPPF では、2022年4月27日に第1回情報共有セミナー「中南米模倣品対策セミナー」を開催しました。中南米における模倣品対策の実態、具体的な事例を中心に講演があり、178名の方々にご参加いただきました。

TNY LEGAL MEXICO S.A. DE C.V. (TNY 国際法律事務所) の永田貴久氏が、中南米7か国(ブラジル、メキシコ、アルゼンチン、コロンビア、ペルー、チリ、エクアドル)における模倣品対策の実態について、講演を行いました。具体的には、特許庁委託模倣品対策強化事業の一環として2022年3月に行われた「[中南米における模倣品対策の制度および運用状況に関する調査](#)」に基づき、関連する政府機関、法律、知的財産権侵害に対する各種措置、鑑定制度、模倣品流通の実態と流通ルートなど幅広い内容をご紹介します。

続いて、キャノン株式会社、本田技研工業株式会社の担当者の方より、ブラジル、エクアドル、コロンビア、ペルーにおける実際の事例から、水際対策、法的措置を行ったケースや地元行政機関の対応の実態についてご紹介いただきました。

講演後の質疑応答では、「模倣品対応に関して費用対効果はどうか」、「模倣品対策を担当する人員は現地事務所に何名配置しているか」、「模倣品対策について日本の本社と現地法人の間に意見の相違が生まれることはあるか」など、多くの質問が寄せられました。

本セミナーでは上記講演のほかに、ジェットロサンパウロ事務所知的財産権部部長の貝沼憲司より、中南米における模倣品流通の実態と対策の概要について説明があったほか、IIPPF 事務局を務めるジェットロ知的財産課より、IIPPF の概要と活動内容を紹介しました。

以上



講演資料表紙

講演資料